

## 【テーマ】景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—

今年度は、景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—を通じて「美し国づくり」に貢献する取組みを募集いたします。

募集予定期間：令和元年12月20日(金)～令和2年3月10日(金)

### 美し国づくり大賞とは・・・

土木・建築・都市計画・造園・環境など幅広い分野の産官学が参加している特定非営利活動法人美し国づくり協会(理事長・進士五十八福井県立大学学長・東京農業大学名誉教授)では、平成26年度に協会設立10周年を記念して『美し国づくり景観大賞』表彰事業を創設し、2回にわたり実施しました。

平成28年度からは、景観づくりのみならず、より多様な活動・取組みによる「美し国づくり」を展開・推進する視点に立って『美し国づくり景観大賞』を拡大・発展し、『美し国づくり“大賞”』表彰事業を3箇年にわたって実施してきました。昨年度は、近年における気候変動による全国各地における猛暑や自然災害の激化を踏まえ、『和らぎ』をテーマに2020年東京オリ・パラ開催に向けた猛暑対策や風雪(強風(季節風)・豪雪)等の厳しい気象の克服・適応や防災・減災の取組みを通じた美し国づくりの実践活動を募集し、美し国づくり大賞1点、特別賞2点を選定しています。

「美し国づくり」の目標は、普遍的に言えば「快適さ、美しさ」(Amenity)の実現です。そして最終的には日本の「国土の景観の多様性」(Landscape diversity)を実現することにあります。

『美し国づくり大賞』は、「美し国づくり」の目標に向け、世界に誇れる美し国づくりの理念の普及啓発と実践行動の推進を図ることを目的として、全国各地で実施されている取組みを募集し、その中から他の模範となる優良な事例を選定し、表彰するものです。

## 概 要

今年度は、景観法制定15周年を迎えたことから、景観づくりのこれまでの努力の成果を示し、今後の展開にもつながるよう、『景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—』をテーマとします。

景観計画等における視点場の設定・整備・活用を通じた美し国づくりの実践的な取組みの優良事例を「独自性」「先進性」「創意工夫」「取組の理念を維持継承するための工夫等」や成果等の側面から総合的に審査・選定し、取組んでいる関係者を美し国づくり大賞として顕彰することとしています。

また受賞者を中心にシンポジウムを開催し、その概要等を美し国づくりの実践活動として広く全国に紹介し、情報を発信します。

### 『景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—』の取組みの例

#### ● 山岳などの自然景観をゆっくり眺める視点場づくり

- ・自然景観をゆっくり楽しめる展望棟や展望テラス、自然学習の場となる休憩スペースの整備

- ・ 地形・地質を学ぶコーナーのある滝見茶屋の整備
- **公園や庭園の景観を眺め・楽しむ視点場づくり**
  - ・ 展望台や散策ルートの休憩場所ともなる東屋の整備
- **橋梁等の土木構造物の景観をゆったり楽しむ視点場づくり**
  - ・ 遊歩道沿いの展望場所ともなる展望台や展望広場の整備、
  - ・ 橋梁形式を学べる橋詰め広場の整備、
- **水辺の景観をゆったり楽しむ視点場づくり**
  - ・ 季節毎に、時の流れとともに移ろう川面の表情を眺められる河岸のオープンカフェの整備
  - ・ (修正案) 季節毎に、時の流れとともに移ろう水面の表情を眺められる海岸・河岸・湖畔のオープンカフェの整備
- **四季の景観の変化をゆっくり眺め・楽しむ視点場づくり**
  - ・ サクラの花やカエデの紅葉を眺める展望テラスや季節の催事に出会える展望広場の整備
- **歴史的町並みの景観を楽しむ視点場づくり**
  - ・ 歴史的町並みを楽しみイベントや地域の伝統行事にふれあえる街角の展望・休憩広場の整備
- **ランドマークをゆったりと眺める視点場づくり**
  - ・ 日々様相を変える富士山を眺められる富士見公園の整備
- **都市景観を楽しむ視点場づくり**
  - ・ 夜景を楽しむことのできる展望塔や展望レストラン・広場の整備

**大賞受賞作品は広く人々の目に触れるよう、  
「美し国づくり協会」がプロモーションを致します。**

例えば、適宜ホームページや協カメディアで「会員コメントを付記して」紹介。また、「大賞・特別賞の紹介」に加えて「シンポジウム内容」などを編集し、数年おきに書籍化・出版し、受賞対象者等に寄贈することも予定しております。

## 応募詳細

### ■応募資格

『景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—』の取組みを通じてまちづくり、地域づくりや景観づくりに取組んでいる地方公共団体、市民団体、NPO 法人、まちづくり組織、地域づくり組織、景観づくり組織、公益法人、民間企業、民間企業団体、学校等（連携して取り組んでいる場合は、連名可）及び個人。

## ■応募内容

『景観を楽しむ—ゆとりと潤い豊かな視点場づくり—』の取組みを通じてまちづくり、地域づくりや景観づくりに取組み、成果を上げているもの・今後の成果が期待されるもの。

## ■表彰内容

- ・美し国づくり大賞・・・1点
- ・特別賞・・・・・・・・・・内容に応じて適宜選定

## ■審査内容

### ◆取組みの目的・理念・目標

- ・本賞の創設の趣旨、目的との整合
- ・取組み理念・目標の設定

### ◆取組みの独自性・先進性・創意工夫等

- ・独自性・先進性・創意工夫
- ・地域の歴史・文化や個性の活用
- ・地域文化を形成するための工夫
- ・取組みの継続性や理念を維持継承するための工夫
- ・取組みを支える人材を育成・確保するための工夫
- ・取組みの資金を確保するための工夫

### ◆地域活性化への寄与

- ・地域(住民)活動の活性化、地域の誇りの向上
- ・産業活性化、周辺への波及効果
- ・インバウンド促進への寄与

### ◆景観の向上

- ・取組みを通じた景観の変化
- ・景観の良好度、周辺の景観や環境との調和

### ◆期間と広がり

- ・実施期間の長さ
- ・内容の広がりや地域の広がり

### ◆行政と地域住民等との連携

- ・行政と地域住民等との連携
- ・行政と地域住民等との役割分担

### ◆法令等に基づく制度の適用等

- ・まちづくり計画、地域づくり計画や景観計画等での位置づけ
- ・景観法や景観条例等の法令・条例制度の適用

## ■審査委員会

## 【委員長】

- ・進士五十八・美し国づくり協会理事長、福井県立大学学長・東京農業大学名誉教授、日本造園学会元会長、日本都市計画学会元会長

## 【委員】

- ・青山俊樹・美し国づくり協会顧問・国土交通省元事務次官
- ・石井弓夫・美し国づくり協会会員・土木学会元会長
- ・小倉善明・美し国づくり協会会員・日本建築家協会元会長
- ・川村健一・美し国づくり協会会員・広島経済大学教授
- ・仙田満・美し国づくり協会会員・東京工業大学名誉教授・建築学会元会長
- ・高梨雅明・美し国づくり協会会員・日本造園学会元副会長
- ・立石真・美し国づくり協会会員・日本建築センター前理事長
- ・並河良治・美し国づくり協会会員・一般財団法人道路管理センター審議役
- ・春田浩司・美し国づくり協会会員・公共建築協会会長
- ・百武ひろ子・美し国づくり協会会員・県立広島大学大学院教授
- ・本間弘・美し国づくり協会会員・本間利雄設計事務所代表
- ・森地茂・美し国づくり協会会員・政策研究大学院大学教授・土木学会元会長
- ・涌井史郎・美し国づくり協会会員・東京都市大学特別教授

# 応募方法

## ■募集期間

令和元年12月20日(金)～令和20年3月10日(金) (当日消印有効)。

## ■応募方法

下記の応募書類を作成の上、募集期間内に電子データをメール又は郵便等で事務局に送付していただくか、Web上で記入し応募ください。

### 【送付先】

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-13-7

名古屋ビル本館コム・ブレイン内

美し国づくり協会・大賞係

### 【メールアドレス】

[info@umashi-kuni.com](mailto:info@umashi-kuni.com)

## ■応募書類

応募にあたっては、以下の書類の電子データをメールで送付又はCD-ROMに収録し、郵送等で提出していただくか、Web上で記入し応募ください。

1. 様式1 「美し国づくり大賞」 応募申請書
2. 様式2 和らぎの取組み状況に関する調書
3. 補足資料 パンフレット等
4. 様式2で使用した各写真の電子データ

### 《メール送付又はCD-ROMの提出にあたっての留意事項》

※様式1～様式2については、下記よりダウンロードしてください。

→「美し国づくり大賞」 応募申請書・取組み状況に関する調書

1. 提出する応募書類は、全て電子データにしてください。
2. 様式1～様式2について、ホームページ上からダウンロードしたものをご利用されない場合は、編集可能なテキストデータ（一般的な文書作成ソフトで読み込みできるもの）にしてください。
3. 補足資料の提出は、必須ではありません。提出される場合は、応募地区の取組み内容・成果等について理解を深めるために必要と判断されるものを厳選し、パンフレット等の印刷物の場合は、スキャナなどで取り込み、PDF形式等に変換されたものを提出してください。取組みの効果が一目で分かるような、取組み開始前と現在の景観を対比できるような写真等があれば、補足資料としてつけてください。
4. 写真の電子データについては、当協会ホームページ上などで利用しますので、様式2に貼り付けたものとは別途、高解像度（写真一枚当たり500KB程度以上）のものをバラで用意してください。データ形式は、JPEG、BMP、TIFF形式とってください。

### 《Web上での記入申請にあたっての留意事項》

入力開始前に以下の写真データ（2、3枚ほど）などを準備いただくとスムーズに作成いただけます。

- ・取組み開始前の状況
- ・現在の状況
- ・取組みの独自性・先進性・創意工夫等  
（地域の歴史、文化、風土など地域の個性の活用、地域文化を形成するための工夫、取組みの継続性や理念を維持継承するための工夫、取組みを支える人材を育成・確保する工夫、取組みの資金を確保するための工夫等がわかるもの）
- ・地域活性化への寄与状況  
（地域活動の活性化、地域の誇りの向上、産業活性化、周辺への波及効果、インバウンド促進など地域の活性化への寄与状況がわかるもの）
- ・景観の変化比較  
（取組み前後の写真以外で景観の良好度、周辺の景観や環境との調和状況がわかるもの）
- ・取組み地域・場所の位置図
- ・行政と地域住民等との連携状況がわかるもの

## ■審査結果

令和2年4月上旬に応募者に対して文書で通知します。

## ■表彰

令和2年6月26日（金）開催（東京都千代田区「東海大学校友会館」霞ヶ関ビル35階）の非営利活動法人美し国づくり協会通常総会時に表彰式を開催します。

## ■シンポジウム

表彰式と同時に大賞受賞者の基調講演を中心としたシンポジウムを開催します。

## ■大賞の紹介

適宜ホームページや協カメディアで「会員コメントを付記して」紹介します。また、「大賞・特別賞の紹介」に加えて、「シンポジウム内容」などを編集して広く情報発信します。これまでの「大賞・特別賞」はホームページをご覧ください。

## 後 援

- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| （一社）日本建築学会      | （公社）日本造園学会                |
| （公社）土木学会        | （公社）日本都市計画学会              |
| （公社）日本建築家協会     | （公財）リバーフロント研究所            |
| （公社）公共建築協会      | （一社）日本公園緑地協会              |
| （公社）国際観光施設協会    | （一財）都市農地活用支援センター          |
| （一財）建設業振興基金     | （一社）地域建設業新未来研究会           |
| （公社）日本建築士会連合会   | 三方良しの公共事業推進研究会            |
| （一社）建設コンサルタンツ協会 | （特定非営利法人）シビルNPO連携プラットフォーム |

## お問い合わせ

本件に関する問い合わせは、特定非営利活動法人美し国づくり協会・大賞係へメールでお願いします。

【メールアドレス】

[info@umashi-kuni.com](mailto:info@umashi-kuni.com)

## ■美し国づくり大賞 ロゴ・WEB プロデュース・作製

（株）design project Qwouk Inc.